

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	世界遺産ガイドの養成
節	. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	7 世界遺産ガイド養成事業	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市社会教育課、佐渡観光協会、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会
事業概要	<p>【事業目的】 世界遺産ガイドの養成を通じて、来訪者への説明体制・ガイダンス機能の強化を図る。</p> <p>【事業内容】 世界遺産・ジオパーク・ジアスに係るガイドのほか、移動手段等に関する総合的な知識を持つガイドや海外からの来訪者に対応できるガイド、資産ごとに詳細な説明を行うガイド等の養成について、次世代の育成も含めて検討する。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 佐渡金銀山ガイド養成講座を4月～5月に5回開催する。 6月28日、7月11日、7月29日～9月2日の間、佐渡金銀山ガイド養成を目的に北沢浮遊選鉱場跡を題材とした研修会を7回開催する。 11月に全ガイドを対象とした講習会、リスクマネジメント研修会の開催する。</p> <p>【29年度実績】 4/22から5/28の間、佐渡金銀山ガイド養成講座として5回開催し、45人が受講終了した。 7月11日午前中に26名の方が、座学、現地ガイド練習を受け、午後からもリスクマネジメントを受講された。7月29日～9月2日の9時～16時までの期間中、観光客延べ450人に10分程度のガイド練習を実施した。 11/9リスクマネジメント研修会を実施し41人が参加した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 知識を増やす場を研修の主眼としていることから、今後は現場での実践を交えた研修が必要である。</p> <p>【今後の取組】 実践の場が必要であることから観光シーズンに観光地(北沢浮遊選鉱場等)でのガイド研修を企画し、冬季はガイドスキルアップのための関連講座を開催する。 ガイドの質を維持・向上するために継続したガイド研修を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a・b・c }</p> <p>【事業実施の効果】 { a・b・c }</p> <p>【総合評価】 { A・B・C }</p> <p>当初計画に基づきガイド養成事業は進んでいることから本評価とした。引き続きガイド技術の向上を目指した研修を進める方針である。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。